

1994

● 産業遺産研究 第1号

編集：中部産業遺産研究会産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1994.5.21、判型：A4判、頁数：79

（巻頭言）	会誌の発行にあたってー産業遺産は文化財ー	田中 浩太郎	
	信州製糸業の技術革新と産業革命ー岡谷器械製糸の盛衰ー	田中 浩太郎	1
論文・調査報告	旧カプトビールの工場建築について	水野 信太郎・野口 英一朗・小野 雅信・水野 由美・坂上 陽子・竹内 尊司・近藤 正弘・山本 貴志夫	12
	桑原輪中と吉里排水機の歴史	高橋 伊佐夫	29
	中部地方電気事業発祥の地ー石炭火力発電所から電気文化会館の誕生までー	寺沢 安正	36
	大宝排水機ーその産業遺産としての価値についてー	山元 章人	46
随想	ー特別高压がいし国産化秘話ー二つのがいしの破片	藤村 哲夫	64
産業技術人物伝	職人道具資料館をつくった人ー鈴木正明氏ー	大橋 公雄・中住 健二郎	70
中部の産業遺産と博物館	旧長浜駅舎鉄道資料館	瀧本 正二	74
活動報告	1993年度中部産業遺産研究会の活動	天野 武弘	76

1995

● 産業遺産研究 第2号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1995.6.11、判型：A4判、頁数：84

（巻頭言）	第2号発刊にあたって 温故知新	藤村 哲夫	1
論文・調査報告	「岩村電車」について（第1報）ー岩村電気軌道（後に矢作水力（株）電気軌道）の歴史ー	永田 宏	5
	依佐美送信所の無線通信施設ー対欧無線通信発祥の地ー	田中 浩太郎	21
	矢作製鉄の創業時における電気高炉について	中住 健二郎	30
中部の産業遺産	扁額に残された飛騨索道	田口 憲一	48
	向野跨線橋	小栗 彰夫	50
	東三河で最初の水道施設：高山浄水場	宗美 修	54
産業技術人物伝	土とともに70年ー常滑の水野平吉さんー	柿田 富造	57
中部の博物館	登窯（陶栄窯）と登窯広場	瀧本 正二	61
活動報告	愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会の歴史	石田 正治	63
	1994年度中部産業遺産研究会の活動	天野 武弘	81

1996

● 産業遺産研究 第3号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1996.6.2、判型：A4判、頁数：98

巻頭言	産業考古学ー私の経験からー	前田 清志	1
論文・調査報告	「岩村電車」について（第2報）ー岩村電気軌道（後に矢作水力（株）電気軌道）の歴史ー	永田 宏	5
	近代における内外土管成形機の歴史	柿田 富造	17
	旧カプトビール創業時の工場とその醸造技術について	山本 貴志夫・水野 信太郎・野口 英一朗・小野 雅信・水野 由美	31
	牟呂発電所遺構の調査研究	石田 正治	59
産業技術人物伝	自動車・バイクの先駆的エンジニアー川真田和汪（かわまだかずお）ー	富成 一也	70
中部の博物館	舞鶴市立“赤れんが博物館”の今日	水野 信太郎・野口 英一朗	76
	福沢桃介記念館・木曾川電力資料館	瀧本 正二	79
追悼	加藤博雄氏を悼む	佐々木 享	82
	加藤博雄・著作、論文等業績目録	石田 正治・高橋 伊佐夫	85
活動報告	1995年度中部産業遺産研究会の活動	天野 武弘	88
	中部産業遺産研究会発行の書籍		94
	中部産業遺産研究会規約		96
	産業遺産研究・執筆要綱		97

1997

● 産業遺産研究 第4号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1997.5.11、判型：A4判、頁数：84

巻頭言	第4号の発刊に当たって 産業遺産への関心の高まり	藤村 哲夫	1
論文・調査報告	玉野用水と玉野発電所	浅野 伸一・永田 宏	5
	北河製品所の煉瓦造工場建築群	水野 信太郎・野口 英一朗	19
	名古屋の地で電気製綱技術の進歩と電気関係学会の発展に貢献した人 川崎舎恒三博士	中住 健二郎	29
調査ノート	蒸気機関車を動かした人たちー元国鉄機関士川端新二氏の体験談からー	土橋 文明・山田 貢	43
中部の産業遺産	鬼淵橋 木曾の森林鉄道の遺産	山田 貢	57
	谷間に眠る東海パルプ笹間渡発電所	永井 唐九郎	61
産業技術人物伝	水力発電のバイオニア 技師大岡正	浅野 伸一	65
中部の博物館	市立岡谷蚕糸博物館	瀧本 正二	71
活動報告	1996年度中部産業遺産研究会の活動	天野 武弘	75
	中部産業遺産研究会発行の書籍		81

	中部産業遺産研究会規約		83
	産業遺産研究・執筆要綱		84

1998

● 産業遺産研究 第5号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1998.5.17、判型：A4判、頁数：156

巻頭言	『産業遺産研究』第5号刊行にあたって 産業遺産の一層の保存と活用を期待する	瀧本 正二	1
論文・調査報告	依佐美送信所の建物設備	水野 信太郎・野口 英一朗	6
	幻の東美電気鉄道株式会社	永田 宏	20
	常滑の夫婦窯	柿田 富造	30
	人造石（たたき）工法とその遺構－服部長七の業績と人造石の歴史的価値－	大橋 公雄	44
特集・地名の歴史と産業遺産	地名の産業遺産総合調査の目的と意義	大河内 信夫	63
	旧地名発電所の沿革	大河内 信夫	65
	地名の産業と経済・文化	板谷 幹	71
	旧地名発電所水路系調査	平原 国男・大河内 信夫・天野 武弘・永井 唐九郎	76
	旧東海紙料地名発電所の煉瓦造建造物に関する調査研究	水野 信太郎・野口 英一朗・後藤 育代・浅井 恵子	84
	地名発電所発電設備の調査報告（続）	石田 正治・市野 清志・大橋 公雄・高橋 伊佐夫・中住 健二郎	98
	地名の交通と運輸－架空索道と舟運および島田軌道－	堤 一郎	104
	地名の交通と運輸－大井川鉄道の建設と地名駅－	白井 昭	114
	地名の産業遺産総合調査の経過とまとめ	天野 武弘	118
	穴窯による焼き方の再現を目ざして－陶芸家 岡崎隆彌氏の体験から－	土橋 文明	120
調査ノート	天竜川の水上輸送と日本通運天竜川専用鉄道	永井 唐九郎	125
中部の産業遺産	東山動植物園に保存される蒸気機関車“C6217”－狭軌蒸気機関車の世界最高速度を記録－	山田 貢	132
中部の博物館	世界のタイル博物館	柿田 富造	138
	氷砂糖資料館	瀧本 正二・中住 健二郎	142
活動報告	1997年度 中部産業遺産研究会の活動	石田 正治・天野 武弘	146
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		150
	中部産業遺産研究会規約		153
	産業遺産研究・執筆要綱		154
	中部産業遺産研究会入会案内		155

1999

● 産業遺産研究 第6号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1999.5.30、判型：A4判、頁数：101

巻頭言	科学技術を越えて－産業遺産研究に新しい視角を－	田中 浩太郎	1
論文・調査報告	春日井市高蔵寺から定光寺付近の鉄道遺産	永田 宏	6
	わが国の洋風陶磁器窯の変遷	柿田 富造	14
	千頭森林鉄道と智者山軌道	白井 昭	42
	天竜川中流域の銅鉱山遺構－久根鉱山と峰之沢鉱山－	天野 武弘・永井 唐九郎	62
中部の博物館	フェルケール博物館	永田 宏	83
	旧八百津発電所資料館	瀧本 正二・中住 健二郎	87
活動報告	1998年度 中部産業遺産研究会の活動	石田 正治	90
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		94
	中部産業遺産研究会規約		98
	中部産業遺産研究会入会案内		99
	産業遺産研究・執筆要綱		101

2000

● 産業遺産研究 第7号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2000.5.28、判型：A4判、頁数：113

巻頭言	21世紀に向けて 産業遺産研究の役割	藤村 哲夫	1
論文・調査報告	戦後復興期のジュラルミン製二輪車、三輪車	杉本 漢三	6
	愛知県内に保存の踏車	石川 勝也・石川 恭子	16
	焼酎瓶・硫酸瓶の変遷－常滑焼を中心にして－	柿田 富造	26
	名古屋市下水道の産業遺産－伝馬町処理場の沈砂池とポンプ室－	中住 健二郎・島田 晴人・野口 英一朗	40
講演録	鉄道ゲージと蒸気機関車技術	春日 保男	48
研究資料	建築用煉瓦の文献目録	水野 信太郎	68
中部の産業遺産	名古屋市電の沢上車庫遺構	中住 健二郎	92
中部の博物館	秤乃館（秤資料館）	永田 宏	96
活動報告	1999年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治・天野 武弘	102
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		106
	中部産業遺産研究会規約		110
	中部産業遺産研究会入会案内		111
	産業遺産研究・執筆要綱		113

2001

● 産業遺産研究 第8号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2001.5.27、判型：A4判、頁数：127

巻頭言	TMPチームの思い出	内田 星美	1
論文・調査報告	静岡県、岐阜県および三重県内に保存の踏車 登窯の変遷－中国から常滑までのながい道程－	石川 勝也・石川 恭子 柿田 富造	5 24
研究資料	国内煉瓦刻印集成	水野 信太郎	51
インテュ「20世紀の産業技術－私の歩んだ道－」	20世紀の産業技術－私の歩んだ道－	天野 武弘	71
	日本の通信技術発展の礎を築く－田中浩太郎氏－	聞き手 天野 武弘ほか、石田 正治編	72
	日本の電力技術に情熱を傾ける－藤村哲夫氏－	聞き手 天野 武弘ほか、天野 武弘編	87
中部の産業遺産	三菱オートギャラリーに保存の乗用車「ヘンリーJ」	杉本 漢三	99
	神屋地下堰堤	永田 宏	107
	初期の量産用大出力CO2レーザ加工機	加藤 真司・東田 賢史・邑神 進	113
活動報告	2000年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治・天野 武弘	117
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		122
	中部産業遺産研究会規約		126
	産業遺産研究・執筆要綱		127

2002

● 産業遺産研究 第9号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2002.5.26、判型：A4判、頁数：201

巻頭言	産業遺産の活用について考える 半田運河と醸造蔵（黒蔵）	瀧本 正二 石川 勝也・石川 恭子	1 5
論文・調査報告	九州地方に保存の踏車	石川 勝也・石川 恭子	21
	名古屋市下水道の産業遺産－熱田ポンプ所・熱田処理場・掘留処理場－	中住 健二郎・島田 晴人・野口 英一朗	35
	陶像の変遷－常滑焼を中心に－	柿田 富造	55
研究資料	愛知県鳳来町の横川製材所（水車動力）史料	天野 武弘	85
	電車用空気ブレーキの系譜 AMPからHSCまで	白井 昭	89
	各種工業製品における製造年代の判定指標（試論）	水野 信太郎	131
インテュ「20世紀の産業技術－私の歩んだ道－」	博物館の科学教育に力をそそぐ－瀧本正二氏－	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし及び編集 早川 恭子	147
	日本の保存鉄道への道を拓く－白井昭氏－	聞き手 橋本 英樹ほか	157
中部の産業遺産	豊田市に残る明治初期の西洋館	朝倉 昭二	175
中部の博物館	大井川鐵道の産業遺産と千頭駅SL資料館	白井 昭・橋本 英樹	181
図書紹介	『東三河地方電気事業沿革史』（芳賀信男著）	永田 宏	189
活動報告	2001年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治・天野 武弘	192
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		196
	中部産業遺産研究会規約		200
	産業遺産研究・執筆要綱		201

2003

● 産業遺産研究 第10号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2003.5.25、判型：A4判、頁数：100

巻頭言	技術史を教育に 岐阜の電気事業先覚者・篠田義彦－佐見川水力発電開発史を中心に－	藤村 哲夫 高橋 伊佐夫	1 5
論文・調査報告	大井川鐵道千頭駅のイギリス製転車台に関する調査報告	中部産業遺産研究会・転車台調査グループ	14
		天野 武弘・石田 正治・近藤 是・白井 昭・高橋 伊佐夫・坪井 珍彦・永井 唐九郎・橋本 英樹・夏目 勝之・山田 貢	
研究ノート	旧海軍の技術による昭和期の煉瓦造建築－舞鶴・豊川・友ヶ島－	水野 信太郎・野口 英一朗・天野 武弘	27
インテュ「20世紀の産業技術－私の歩んだ道－」	民間テレビ放送の草創期を切り拓く－永田宏氏－	聞き手 水野 信太郎ほか、早川 恭子編	41
中部の産業遺産	鳥羽造船所と鳥羽電機製作所・神鋼電機の歴史と産業遺産	浅野 伸一	52
	南木曾町の文化財：史跡 大崖砂防堰堤	中住 健二郎	61
	JR武豊線の鉄道遺産（1）	石川 勝也・石川 恭子	66
中部の博物館	登内時計記念博物館	杉本 漢三	86
活動報告	2002年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治・天野 武弘	89
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		95
	中部産業遺産研究会規約		99
	産業遺産研究・執筆要綱		100

2004

● 産業遺産研究 第11号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2004.5.23、判型：A4判、頁数：119

巻頭言	情報交換を活発に	中住 健二郎	1
論文・調査報告	愛知の海苔	永田 宏	5
	美濃橋ー長良川に現存する我が国最古の近代的吊橋ー	山根 巖	21
研究ノート	国鉄自動車徳山線による戦中・戦後の貨物輸送ー元運転士のオーラルヒストリーー	夏目 勝之	33
	国鉄自動車徳山線による戦中・戦後の貨物輸送ー（資料編1）元運転士・広瀬伍助氏のオーラルヒストリーー	夏目 勝之	43
	国鉄自動車徳山線による戦中・戦後の貨物輸送ー（資料編2）元運転士・小林勲氏のオーラルヒストリーー	夏目 勝之	50
インタビュー 「私の歩んだ道」	日本の技術教育学の草分けー佐々木享氏ー	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 堀 恭子、堀 恭子・天野 武弘編	60
中部の産業遺産	J R武豊線の鉄道遺産（2）	石川 勝也・石川 恭子	83
	発見された中部地方最古の水車ランナ 松川筋の発電所とその遺構	浅野 伸一	89
中部の博物館	三菱重工 名古屋航空宇宙システム製作所 史料室の設立と現状、そして将来構想	岡野 允俊	93
	中部電力株の「電力史料館」	永田 宏	98
追悼	藤村哲夫先生を悼む	石田 正治	103
活動報告	2003年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治・天野 武弘	106
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		112
	中部産業遺産研究会規約		117
	『産業遺産研究』執筆要綱		118

2005

● 産業遺産研究 第12号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2005.5.22、判型：A4判、頁数：160

巻頭言	文化資源としての産業遺産・産業技術の保存と活用	坪井 珍彦	1
特別報告	「愛知万国博」と中部産業遺産研究会ー産業観光国際フォーラムと国際産業遺産保存委員会（TICCIH）の2005年中間会議開催までの道のりー	田中 浩太郎	6
論文・調査報告	博物館明治村機械館の重要文化財「菊花紋章付き平削り盤」	島 和雄・高崎 昭	17
	松阪地方の電気事業史	黒川 静夫	33
	久留米の和洋諸紙商「三島屋」の建築	水野 由美・水野 信太郎・野口 英一朗	47
	「美濃橋」の補遺と白川橋ー我が国に現存する最古と二番目に古い鋼吊橋ー	山根 巖	66
研究ノート	古代ローマの水道橋を訪ねて	石田 正治	73
	N H K旧桶狭間ラジオ放送所	永田 宏	83
中部の産業遺産	J R武豊線の鉄道遺産（3）	石川 勝也・石川 恭子	90
	一般公開された昔の水力発電設備2件	高橋 伊佐夫	97
インタビュー 「私の歩んだ道」	常滑焼の調査・研究に捧げてー柿田富造氏ー	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし及び編集 浅野 伸一・永田 宏・堀 恭子	98
中部の博物館	貨物鉄道博物館	夏目 勝之	111
私のフィールドワーク	ヨーロッパの産業遺産を見て	山本 貴志夫	115
	産業遺産調査のおもしろさ	高橋 伊佐夫	116
コラム	大正ロマンの香り漂う「文化のみち二葉館」がオープン		117
産業遺産関連情報	わが国の蚕糸産業遺産を世界遺産に推薦する動向	近藤 哲生・大橋 公雄	118
	TICCIH中間会議2005+産業観光国際フォーラム in 愛知・名古屋 プログラム	石田 正治	121
	『電気通信物語』ー通信ネットワークを変えてきたものー（城水元次郎著）	永田 宏	140
書籍紹介	Tourismus und Industriekultur. Vermarktung von Technik und Arbeit. Jürgen Schwark（Hrsg. 編集者）（観光と産業遺産。技術と労働のマーケティング）	オリバー・マイヤー	142
活動報告	2004年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治	145
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		152
	中部産業遺産研究会規約		158
	『産業遺産研究』執筆要綱		159

2006

● 産業遺産研究 第13号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2006.5.28、判型：A4判、頁数：149

巻頭言	「産業考古学」の原点へ戻る	種田 明	1
論文	産業遺産の概念と産業考古学の課題ー若干の理論的諸問題に触れてー	佐々木 享	6
コラム	『愛知県史 別編 文化財1 建造物・史跡』近刊（2006年5月予定）	編集部	21
論文	文化・技術遺産の保存・伝承・活用を「回り舞台」の研究を通じて提言する	坪井 珍彦	22
コラム	「産業遺産のパネル展」に2500人が来場	編集部	33
論文	名古屋テレビ塔の50年	永田 宏	34
	旧豊川電話中継所と装荷線輪用やぐらー初期の長距離市外電話（装荷ケーブル）の産業遺産ー	天野 武弘	51
中部の博物館	豊田市近代の産業とくらし発見館	天野 博之	63
	瀬戸蔵ミュージアム	山田 貢	65
中部の産業遺産	三菱オートギャラリー保存の乗用車「三菱500」	杉本 漢三	68
インタビュー 「私の歩んだ道」	歴史的建造物の保存・活用に貢献ー博物館明治村館長 飯田喜四郎氏ー	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	77
	工業教育に半生を尽くしてー中住健二郎氏ー	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし及び編集 堀 恭子	91

私のフィールドワーク	テオドール・ベル形水車の調査	杉浦 雄司	101
コラム	ダムと水力発電所	小林 恵助	102
私のフィールドワーク	飛鳥村大宝排水機場保存館	山元 章人	103
会員諸活動	TICCIH中間会議2005+産業観光国際フォーラム in 愛知・名古屋開催報告	石田 正治	105
研究ノート	愛知県近代化遺産総合調査から学んだことー産業遺産の調査研究の方法に関してー	天野 武弘	111
書籍紹介	『三遠南信 産業遺産』（石田正治著）	浅野 伸一	120
	『九州遺産ー近現代遺産編 101ー』（砂田光紀著）	永田 宏	122
追悼	近藤哲生先生を悼む	大橋 公雄	124
	基楽の近藤哲生さん	寺沢 安正	128
	石川勝也氏を偲んで	天野 武弘	129
	朝倉昭二氏を偲んで	橋本 英樹	131
活動報告	2005年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治	133
	中部産業遺産研究会発行・編集の書籍		139
	中部産業遺産研究会規約		146
	『産業遺産研究』執筆要綱		148

2007

● 産業遺産研究 第14号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2007.5.27、判型：A4判、頁数：137

巻頭言	産業遺産と産業観光について考える	瀧本 正二	1
論文	重要伝統的建造物群保存地区における町並み保存と「まちづくり」への取り組み	漢人 省三	6
	宇都宮三郎と愛知県の殖産興業ー殖産興業の伝道者ー	浅野 伸一	21
コラム	豊田市で「宇都宮三郎展」を開催		42
調査報告	続・旧豊川電話中継所と装荷線輪用やぐらー調査による建物の図面と機器配置ー	野口 英一朗・天野 武弘	43
研究ノート	産業遺産研究方法試論	天野 武弘	57
中部の博物館	依佐美送信所記念館	石田 正治	68
	鋳物歴史展示室（アイシン高丘㈱ものづくり研修所内）	平川 竜一	73
インタビュー 「私の歩んだ道」	温故知新が私の人生哲学ー坪井珍彦氏ー	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	76
産業技術人物伝	金糸と歩んだ半生記	坪井 珍彦	92
私のフィールドワーク	ダム・水力発電所調査	安見 脩	93
コラム	旧上水電気発電所資料館	幸田 晃	102
海外情報	近代上下水道の父W・K・バルトン生誕150年記念行事に参加して		103
	諸外国の運河を訪ねてー運河にみる産業遺産と産業観光ー	島田 晴人	104
		大橋 公雄	110
書籍紹介	『日本近代技術の形成ー（伝統）と（近代）のダイナミクスー』（中岡哲郎著）	永田 宏	115
	『ものづくり王国を旅する 名古屋・愛知・岐阜・三重・静岡』（企画・監修 赤崎まき子・「I Tours クラブ」サービス機構編）	坪井 珍彦	118
	『石炭の詩 資生堂石炭工場物語』・『美粧の座標 資生堂大船工場物語』（浅利茂樹著、資生堂企業文化部編）	堀 恭子	120
コラム	「中部の電力の歩いたみち」展の開催	寺沢 安正	122
活動報告	2006年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治	123
	中部産業遺産研究会の書籍		129
	中部産業遺産研究会規約		134
	『産業遺産研究』執筆要綱		136

2008

● 産業遺産研究 第15号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2008.5.25、判型：A4判、頁数：126

巻頭言	産業遺産研究における歴史研究の視点	佐々木 享	1
論文	貨物用K三動弁	白井 昭	5
	名古屋の電鉄発祥の地 旧那古野車庫と赤煉瓦塀	橋本 英樹	12
	青島戦ドイツ兵俘虜と名古屋の産業発展ー技術移転の様相を探るー	校條 善夫	19
研究ノート	岩村電車の新出資料	永田 宏	37
	愛知県史の調査と執筆から	山田 貢	45
中部の博物館	プラザー コミュニケーション スペース	中住 健二郎	51
	南極観測船「ふじ」（砕氷艦）	杉本 漢三	54
インタビュー 「私の歩んだ道」	飛行機人生ー岡野允俊氏ー	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし及び編集 堀 恭子	59
	総合科学として「技術史工学」を提唱ー愛媛大学名誉教授 都築正之氏ー	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	74
コラム	旧国鉄トンネル群の保存・再生委員会の活動	永田 宏	81
海外情報	ウィーン技術博物館の世界最初のLD転炉	石田 正治	82
	イタリア・ミラノのグランデ運河を訪ねて	大橋 公雄	86
コラム	「ふるさと産業遺産」を『朝日新聞』に連載		88
海外情報	ヨーロッパの鉄道を歩く	土橋 文明	89
関連情報	NPO法人名古屋レール・アーカイブスの発足と現状について	藤井 建	94
書籍紹介	『日本産業技術史事典』（日本産業技術史学会編）	天野 武弘	99
	『日本のシルクロードー富岡製糸場と絹産業遺産群ー』（佐滝剛弘著）	永田 宏	101
	『近代化遺産探訪案内 近代から「とよた」を発見する』（豊田市教育委員会編）	大橋 公雄	103
コラム	関東・関西地区の電力周波数50・60Hzの起源	永田 宏	104
	第9回夏の産業遺産見学旅行 静岡県伊豆地方の産業遺産・文化遺産を訪ねて	近藤 是	105

活動報告	「名古屋の都市づくりと名古屋港の産業遺産」展と講演会	寺沢 安正	110
	2007年度 中部産業遺産研究会の活動報告	石田 正治	113
	中部産業遺産研究会の書籍		119
	中部産業遺産研究会規約		123
	『産業遺産研究』執筆要綱		125

2009

● 産業遺産研究 第16号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2009.5.24、判型：A4判、頁数：135

巻頭言	近代の文化財	天野 武弘	1
論文	極小規模水力発電事業の実態 岐阜県に於ける電気利用組合・集落自家発電の場合	田口 憲一	3
調査報告	庄内川水系の発電所の石造建造物に関する調査報告	茂吉 雅典・五島 利兵衛	21
	東海道本線木曽川駅における産業遺産の一部保存について	野口 英一朗・神田 年浩・岩井 章真	32
	大井川鐵道井川線 クハ600形制御客車 車輪タイヤ焼き嵌め作業の記録	橋本 英樹	43
研究ノート	トライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑）遺産の調査と保存－産業遺産保存とのかかわりを考えて－	坪井 珍彦	53
中部の博物館	愛知大学中部地方産業研究所附属生活産業資料館	天野 武弘	57
中部の産業遺産	国の重要文化財となった東海道本線の初代揖斐川橋梁－124年の歴史を刻む－	高橋 伊佐夫	61
インタビュー「私の歩んだ道」	古き熱田の語り部として－近藤是氏－	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	64
	手塚辰次郎略伝		75
海外情報	イギリス観光旅行で見た産業遺産	大河内 信夫	76
コラム	憩いの世界、川上別荘「万松園」		79
海外情報	ヨーロッパの鉄道を歩く2	土橋 文明	80
産業遺産見学会	第10回 夏の産業遺産見学旅行 北近畿地方の産業遺産等を訪ねて	近藤 是	85
中部の産業遺産	愛知大学のガラ紡展示室、河合真田工場、牟呂用水の橋	天野 武弘	90
産業遺産見学会	桑名市内に現存する諸戸水道跡 3月見学会の紹介	大橋 公雄・中住 健二郎	92
産業遺産関連情報	「眠れるウォーターフロント 中川運河」の現状と再生への取り組み	柳田 哲雄	94
コラム	堀川と中川運河を結ぶ松重閘門	浅野 伸一	96
産業遺産情報	経済産業省の近代化産業遺産群33について	永田 宏	97
書籍紹介	『身近なエネルギー産業遺産』（寺沢安正・浅野伸一著）の発刊をよこぐ産業遺産研究の課題を考える	佐々木 享	103
	『産業遺産を歩こう－初心者のための産業考古学入門－』（平井東幸・種田明・堤一郎編著）	寺沢 安正	108
	『水燃えて輝く－木曽川の水力発電開発を中心に－』（茂吉雅典著）	永田 宏・浅野 伸一	110
	ドイツのラインラント産業博物館・ヴェストファーレン・リッペ産業博物館発行の季刊誌『Industrie-kultur 3/2008』日本特集号	石田 正治	112
コラム	旧国鉄トンネル群の保存・再生委員会の活動（平成20年度）	永田 宏	113
	タウン誌に「中部産業遺産研究会」が紹介される	浅野 伸一	114
活動報告	「福沢桃介の歩み」展－生涯140年・没後70年記念－	寺沢 安正	115
	「“元気な名古屋”のモノづくり」講座の実施	寺沢 安正	117
	2008年度 中部産業遺産研究会の活動報告	野口 英一朗	119
	中部産業遺産研究会の書籍		127
	中部産業遺産研究会規約		132
	『産業遺産研究』執筆要綱		134

2010

● 産業遺産研究 第17号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2010.5.23、判型：A4判、頁数：145

巻頭言	産業遺産と名古屋開府400年	寺沢 安正	1
調査報告	広告から見た日本の受信用真空管の歴史	渡辺 治男	4
	尾西地方の鋸屋根工場（群）について	岩井 章真	15
	大井川鐵道井川線新線計画の推移	白井 昭	29
	名古屋鉄道における英国EE製カム制御器について	白井 昭	43
	明治基地の非常用発電所遺構の調査報告〔第1報〕	中住 健二郎	54
研究ノート	フレネル式レンズ技術の発展について	井土 清司	59
	航路標識における再生可能エネルギーについて	井土 清司	64
中部の産業遺産	浜松市上水道の産業遺産	天野 武弘	77
中部の博物館	八神自転車資料館	永田 宏	80
産業遺産紀行	九州最後の炭坑、池島炭坑跡を訪ねて	大井 昭雄	84
インタビュー「私の歩んだ道」	岐阜の産業遺産の保存・展示に協力して－高橋伊佐夫さん－	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	92
海外情報	TICCIH2009本会議・総会 フライバルク／ドイツ報告	種田 明	101
	第14回TICCIH2009 フライバルグ／ドイツ会議の参加報告	寺沢 安正	107
	ベルリンの産業遺産－TICCIH2009プレングレスツアー報告－	森田 優己	115
	ベルリン・フリードリヒスハーゲンの水道博物館	石田 正治	119
追悼記事	山本貴志夫先生を悼む	植田 泰司	121
	山本貴志夫さんを悼む	人見 昭	124
産業遺産見学会	大垣市に残る東海道本線の鉄道遺産 2010年3月見学会の紹介	高橋 伊佐夫・大橋 公雄	125

活動報告（パネル展・講演会）	名古屋の“ものづくり”を支えた企業家たち	寺沢 安正・大橋 公雄	127
活動報告	中部産業遺産研究会・定例研究会100回記念講演会	天野 武弘	129
	「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」の開催報告	寺沢 安正	130
	歩いてさぐる名古屋の“ものづくり”講座の実施	寺沢 安正	132
	2009年度（平成21年度）の中部産業遺産研究会活動報告		134
	中部産業遺産研究会の書籍		138
	中部産業遺産研究会規約		142
	『産業遺産研究』執筆要綱		144

2011

● 産業遺産研究 第18号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2011.5.29、判型：A4判、頁数：140

巻頭言	産業遺産研究30年の歴史を振り返って	石田 正治	1
調査報告	尾西地方の鋸屋根工場の一次調査－その1－	小野 雅信・岩井 章真・野口 英一朗	4
	旧東海紙料地名発電所建物の解体に伴う調査報告と保存問題	天野 武弘・中住 健二郎・永井 唐九郎・野口 英一朗	20
	乗用車「三菱A型」の歴史	杉本 漢三	29
研究ノート	産業遺産としての送電鉄塔	中住 健二郎	33
コラム	国鉄バス第1号車	浅野 伸一	40
研究ノート	時の鐘	井土 清司	41
コラム	横須賀御殿と長源寺の「時の鐘」	永田 宏	46
研究ノート	熱田湊常夜灯	井土 清司	48
特別報告	「アナログTVの送信アンテナ保存要望」に関する中部産業遺産研究会の活動	佐々木 享	53
産業遺産紹介	依佐美送信所の調査研究史と長波無線通信設備保存の経緯－IEEEマイルストーンへ道－	石田 正治	59
	湖国に発電所を訪ねて－神山発電所跡・現役最古の大戸川発電所－	安見 脩	67
インタビュー「私の歩んだ道」	造船への憧れが産業遺産研究の原点－宗美修氏－	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	72
国際会議報告	フィンランド・タンペレの国際会議「産業遺産の再生」参加報告とヨーロッパの長波無線通信施設の調査	石田 正治	82
海外事情	ヨーロッパの鉄道を歩く3	土橋 文明	87
書籍紹介	『火の見櫓 地域を見つめる安全遺産』（火の見櫓からまちづくりを考える会編）	永田 宏	92
	『オランダ人デ・レイケがみた信州の河川・道路～明治時代の長野県の河川・道路とその史料～』（小西純一・山浦直人編）	島田 晴人	96
	『新・機械技術史』（日本機械学会編）	橋本 英樹	99
コラム	『豊橋鉄工会 50年のあゆみ』（豊橋鉄工会編）	杉本 漢三	101
	日本文化は白銀比	杉本 漢三	102
書籍紹介	『愛知大学中部地方産業研究所付属生活産業資料館 産業資料目録（旧蔵資料）』（愛知大学中部地方産業研究所編）	永田 宏	103
	『産業遺産 時を超えて輝く』（日刊工業新聞社編）	安見 脩	105
活動報告	2010年度（平成22年度）の中部産業遺産研究会活動報告	野口 英一朗	106
	名古屋テレビ塔・NHK名古屋放送局見学会報告	永田 宏	112
	JR東海「リニア・鉄道館」見学会	近藤 是	114
	パネル展と講演会「名古屋の町づくりを支えた堀川・新堀川」－産業遺産と起業を訪ねて－	浅野 伸一	116
コラム	熱田港と熱田駅を結ぶ水脈姥子川運河（熱田運河）	近藤 是	118
活動報告	展覧会開催による産業遺産「尾西地方の鋸屋根工場群」の周知活動について	岩井 章真	119
コラム	「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」の開催報告	柳田 哲雄	123
活動報告	堀川の取水量を調節した黒川樋門	柳田 哲雄	124
活動報告	名古屋の“ものづくり”を支えた企業家たちの講演会とパネル展－名東生涯学習センター30周年記念に協賛－	寺沢 安正	125
コラム	「電気新聞」に中部産業遺産研究会が紹介	寺沢 安正	126
	中部産業遺産研究会規約		127
	中部産業遺産研究会の年譜	野口 英一朗	129
	中部産業遺産研究会 歴代役員名簿	野口 英一朗	132
	中部産業遺産研究会の書籍		135
	『産業遺産研究』執筆要綱		139

2012

● 産業遺産研究 第19号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2012.5.27、判型：A4判、頁数：180

巻頭言	名古屋テレビ塔の今後	永田 宏	1
調査報告	旧矢作製鉄高炉の産業遺産的価値	天野 武弘・青山 正治	5
	尾西地方における初期の鋸屋根工場－旧舩善毛織－	岩井 章真・野口 英一朗・天野 武弘・神田 年浩・小野 雅信	27
	中埜又左衛門氏の「瓦斯燈建設届」（附）幕末・明治初期の我が国燈台事情略史	永田 宏・浅野 伸一・井土 清司	50
	山田才吉と人造石	大橋 公雄	61
コラム	服部長七の足跡	大橋 公雄	65
研究ノート	短命に終わった日本の真空管式ポータブルラジオ	渡辺 治男	66
	軍用機の木製化について	井土 清司	71

	開業100年を迎えた西尾鉄道とその遺構について	藤井 建	80
	省営・岡多線と国産自動車のあゆみ	杉本 漢三	89
産業遺産紹介	豊川市の上水道遺産	天野 武弘	94
	佐世保 針尾無線塔	渡辺 治男	97
中部の博物館	特定非営利活動法人貨物鉄道博物館	山田 貢	100
インタビュー「私の歩んだ道」	京都金糸づくりの職人として－安見脩氏－	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	104
コラム	室戸台風による瀬田川鉄橋列車転覆事故	安見 脩	112
海外情報	台湾の産業遺産	大橋 公雄	113
	ヨーロッパの鉄道を歩く 4	土橋 文明	122
書籍紹介	『摩擦は友か、摩擦は敵か－トライボロジーの技術史－』（坪井珍彦著）	天野 武弘	128
	『日本の近代を開いた産業遺産 推薦産業遺産 1985～2010』（大橋公雄・玉川寛治編）	大井 昭雄	131
	『近代の産業遺産をたずねる』（（財）日本修学旅行協会編）	山田 貢	133
	『亀田光三論文集 桐生織物史と産業遺産』（亀田貴雄編）	吉田 豊	135
	『旧豊川海軍工廠近代遺跡調査報告書』（豊川市教育委員会編）	永田 宏	137
	『アンテナタワー千一夜』（北沢幸浩著）	永田 宏	139
コラム	長崎県対馬にあったオメガ無線局大鉄塔の解体工事	永田 宏	141
書籍紹介	『信濃の橋百選』（信濃の橋刊行会編）	野口 英一郎	142
コラム	名古屋の造船業	野口 英一郎	143
書籍紹介	『ぼくらの時代 昭和20年前後』（岡野允俊編）	杉本 漢三	144
コラム	鹿乗橋（かのりはし）の拡幅	永田 宏	145
活動報告	2011年度（平成23年度）の中部産業遺産研究会活動報告	野口 英一郎	146
	名古屋のものづくり・まちづくりを育んだ木材産業－2011年パネル展－	寺沢 安正・大橋 公雄・中住 健二郎	152
コラム	坪内逍遙の描いた明治初期の名古屋	寺沢 安正	158
活動報告	2011年度「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」報告	寺沢 安正	168
	中部産業遺産研究会規約		170
	中部産業遺産研究会の年譜	野口 英一郎	172
	中部産業遺産研究会の書籍		175
	『産業遺産研究』執筆要綱		179

2013

● 産業遺産研究 第20号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2013.5.26、判型：A 4判、頁数：149

巻頭言	私の産業考古学の調査方法	石田 正治	1
調査報告	豊橋市二川町の豆味噌・たまり醤油工場と産業遺産－東駒屋と西駒屋の機械化設備－	天野 武弘・野口 英一郎	4
	蒲郡市の鋸屋根工場の一次調査－その1－	野口 英一郎・岩井 章真・天野 武弘・小野 雅信	26
	テルファー 名古屋港・清水港	永田 宏・井土 清司	37
コラム	塔の歴史－東京スカイツリーに寄せて－	杉本 漢三	42
研究ノート	ねじの歴史と継ぎ手としての活用について	杉本 漢三	49
	産業遺産等の認定及び保存と活用に関する各方面の動向について	永田 宏	56
	日本の真空管ラジオの見方	渡辺 治男	63
	水車研究のすすめ－中部の3事例を紹介－	白井 昭	68
	中埜又左衛門氏の「瓦斯燈建設届」（追報）	永田 宏	71
コラム	掩体壕	杉本 漢三	73
講演要旨	名古屋都市圏の鉄道－その経緯、現状、展望－	須田 寛	74
産業遺産紹介	名古屋の鉄道発祥地をめぐる散策コース	山田 貢	78
	金山揚水遺構－待望の水、水路を走る－	小西 恭子	88
博物館紹介	国立大学法人電気通信大学 U E Cコミュニケーションミュージアム	中村 治彦	93
インタビュー「私の歩んだ道」	尾西毛織物業の栄光と衰退の体験を語り伝えて 鈴木貴詞さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	97
コラム	鈴鎌毛織物工場経歴		102
海外情報（国際会議報告）	15th TICCIH CONGRESS 2012 in Taiwan 参加報告と台湾の産業遺産	石田 正治	107
海外情報	台湾の台南地域に保存されている産業遺産	大橋 公雄	112
	ヨーロッパの鉄道を歩く 5	土橋 文明	117
書籍紹介	『鉄道技術者 白井昭 パノラマカーから大井川鐵道SL保存へ』（高瀬文人著）	橋本 英樹	121
コラム	名古屋汎太平洋平和博覧会と名車1400型	藤井 建	124
書籍紹介	『加茂地域にある木曽川水力の歴史～国指定重要文化財・近代化産業遺産の旧八百津発電所を中心に～』（和田義昭編）	浅野 伸一	125
	『15歳の機関助士 戦火をくぐり抜けた汽車と少年』（川端新二著）	山田 貢	128
	『ぼくらの時代 第4巻 こぼれ話編』（岡野允俊編）	杉本 漢三	130
活動報告	2012年度（平成24年度）の中部産業遺産研究会活動報告	野口 英一郎	131
	2012年度 パネル展と講演会「名古屋のまちづくりを支えた鉄道網」	井土 清司	136
	中部産業遺産研究会規約		138
	中部産業遺産研究会の年譜	野口 英一郎	140
	中部産業遺産研究会の書籍		143
	『産業遺産研究』執筆要綱		148

2014

● 産業遺産研究 第21号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2014. 5. 25、判型：A 4 判、頁数：63

巻頭言	地域に根ざした産業遺産研究－私の体験から－	大橋 公雄	1
論文	矢作製鉄の低炉型電気製鉄炉の技術史的産業遺産的意義	天野 武弘・青山 正治	3
調査報告	平和橋－名古屋汎太平洋平和博覧会の遺産－	永田 宏・井戸 清司	13
コラム	超音波魚群探知機	杉本 漢三	18
調査報告	リニア・鉄道館の展示の研究	橋本 英樹	19
	蒲郡市の鋸屋根工場の一次調査－その 2－	岩井 章真・小野 雅信・天野 武弘	23
	岐阜県東部の砂防堰堤について その 1	田口 憲一	33
コラム	星型発動機（エンジン）／Rotary engine	杉本 漢三	37
調査報告	旧木曾川橋の産業遺産的調査と部材の保存	馬場 慎一	38
産業遺産紹介	港橋の遺構について	永田 宏	46
博物館紹介	名古屋陶磁器会館の紹介 世界を魅了したやきもの文化の館	松井 三希子	48
インタビュー「私の歩んだ道」	寺沢安正さん たゆまぬ真善美の追求	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 朝井 佐智子	50
書籍紹介	『ぼくらの時代 第5巻 エッセイ編』（岡野允俊編）	杉本 漢三	55
	『東海の産業遺産を歩く』（安部順一編）	杉本 漢三	56
コラム	アトキンソンサイクル機関／Atkinson cycle engine	杉本 漢三	56
書籍紹介	『月刊文化財』平成25年 5 月号	永田 宏	57
活動報告	2013年度パネル展・講演会 近代名古屋の発展と海外との関わり～戦前の国際都市名古屋の形成～Part I	浅野 伸一	58
	2013年度の中中部産業遺産研究会活動報告		60
	『産業遺産研究』執筆要綱		62

2015

● 産業遺産研究 第22号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2015. 7. 12、判型：A 4 判、頁数：79

巻頭言	産業遺産から学ぶ「技術の伝承」の大切さ	杉本 漢三	1
追悼	佐々木享元会長を偲ぶ		2
	佐々木元会長のご逝去を悼む	永田 宏	2
	お別れの言葉（5月16日お別れの会にて）	大橋 公雄	2
	佐々木享先生を悼む	天野 武弘	3
	追悼 佐々木享先生	石田 正治	4
	佐々木享先生から教えていただいたこと	斎藤 修啓	5
調査報告	「幡豆石」の運搬軌道	白井 昭・藤井 建	6
コラム	アツタ号／名古屋市中京デトロイト計画	杉本 漢三	12
調査報告	共進会 第十回関西府県連合共進会を中心に	永田 宏	13
	岐阜県東部の砂防堰堤について その 2	田口 憲一	23
	蒲郡市の鋸屋根工場の一次調査－その 3－ 鋸屋根工場の業種別での特徴	野口 英一朗・岩井 章真・小野 雅信	28
研究ノート	自動車の無段変速機（CVT）の技術史について	杉本 漢三	38
	産業記念碑に関する一考察－矢作川流域の電力記念碑から－	浅野 伸一	42
産業遺産紹介	手回しガラ紡績機－新発見機と既存の 2 台－	天野 武弘	47
博物館紹介	リニューアルした岡谷蚕糸博物館－五感で体験、生まれ変わった博物館へ－	大橋 公雄	49
	木曾川文庫 木曾三川に関する資料館	馬場 慎一	51
	名古屋市上下水道局「水の歴史資料館」	島田 晴人	53
コラム	尾張藩時代の中下水道遺構	浅野 伸一	54
インタビュー「私の歩んだ道」	東濃での教員生活と産業遺産調査と石器採集と田口憲一さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	55
コラム	改進社「ダット号」	杉本 漢三	59
海外情報	故人の想い出 TICCIH前事務局長 スチュワート・スミス氏	石田 正治	60
	ヨーロッパの鉄道を歩く 6	土橋 文明	61
資料紹介	旧岩村電車の新出資料－小沢発電所の絵葉書	永田 宏・藤井 建	63
書籍紹介	『堀川－歴史と文化の探索－』（伊藤正博・沢井鈴一著）	永田 宏	64
	『日本のヴァイオリン王－鈴木政吉の生涯と幻の名器－』（井上さつき著）	永田 宏	65
	『現場で役立つ旋盤加工の基本と実技』（石田正治著）	兒島 高德	66
	『ぼくらの時代 第六巻 創作記録編』（岡野允俊編）	杉本 漢三	68
コラム	戦前名古屋の国際飛行場	真野 素行	68
活動報告	2014年度パネル展・講演会 近代名古屋の発展と海外との関わり～戦前の国際都市名古屋の形成～Part II	浅野 伸一	69
活動報告・活動計画	2014年度の中中部産業遺産研究会活動報告		71
	2015年度の中中部産業遺産研究会事業計画		73
	中部産業遺産研究会規約		74
	中部産業遺産研究会 2014～2015年度役員		75
	中部産業遺産研究会 2014～2015年度役員と組織		76
	『産業遺産研究』執筆要綱		77
	中部産業遺産研究会入会案内		79
会員会社 広報・広告			

2016

● 産業遺産研究 第23号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2016.7.24、判型：A4判、頁数：83

巻頭言	産業遺産についての一私見	永田 宏	1
調査報告	津島市のリードワイヤー工場－箴直リード製作所本社工場－	岩井 章真・天野 武弘・野口 英一朗・山田 富久	2
	知多地方の鋸屋根工場の一次調査－その1－ 知多市・阿久比町・東浦町	小野 雅信・野口 英一朗・岩井 章真	12
コラム	P-51 マスタング戦闘機（ノースアメリカン製）	杉本 漢三	19
調査報告	岐阜県東部の砂防堰堤について その3	田口 憲一	20
研究ノート	多段膨張蒸気機関の歴史とガソリン機関への応用	杉本 漢三	28
コラム	たま電気自動車（E4S-47）	杉本 漢三	32
研究ノート	名古屋商業会議所（現名古屋商工会議所）の本館（現建中寺徳興殿）と議事堂について	野口 英一朗	33
特集	佐々木享先生の人生の歩みと技術史や産業遺産に関する研究業績について	横山 悦生	37
	論文の作り方（抄録）－タイトル、要旨、キーワードなどに関する諸問題－	佐々木 享	40
産業遺産紹介	浜名湖れんが館（旧宮崎製糸乾繭倉庫）～静岡県西部の養蚕・製糸の歴史とともに～	漢人 省三	43
	岐阜県の神坂風穴見学記－恵那市の山本風穴、東野蚕種製造所、中津川市の神坂風穴－	大橋 公雄	47
博物館紹介	石川繊維資料館	天野 武弘	49
	四郷郷土資料館 四日市市指定有形文化財	寺沢 安正	51
コラム	旧亀山製糸室山工場	寺沢 安正	52
インタビュー「私の歩んだ道」	与えられた場所で最善をつくす 島田晴人さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	53
コラム	フォース鉄橋を建設した渡辺嘉一	編集部	57
海外情報（国際会議報告）	16th TICCIH CONGRESS 2015 in Lille 参加報告と北フランスの産業遺産	石田 正治	58
海外情報	東ヨーロッパの産業遺産	市野 清志	61
資料紹介	『電気之友』誌に掲載された対欧四日市受信局	永田 宏	63
	岩村電車関連の新出資料3題	永田 宏・藤井 建	65
コラム	零式艦上戦闘機（ゼロ戦、零戦）	杉本 漢三	66
資料紹介	府県連合共進会審査復命書	永田 宏	67
書籍紹介	『地域のかなかの軍隊3 中部 列島中央の軍事拠点』（河西英通編）	杉本 漢三	68
	『中島飛行機の終戦』（西まさる著）	杉本 漢三	69
	『東芝の祖 からくり儀右衛門 日本の発明王 田中久重伝』（林洋海著）	永田 宏	70
活動報告	2015年度パネル展・講演会 東海の絹 文化と産業遺産	浅野 伸一	71
活動報告・活動計画	2015年度の中部産業遺産研究会活動報告		73
	2016年度の中部産業遺産研究会事業計画		75
	中部産業遺産研究会規約		76
	中部産業遺産研究会 2016～2017年度役員及び分掌幹事		77
	中部産業遺産研究会 2016～2017年度役員と分掌組織		78
	『産業遺産研究』執筆要綱		79
	中部産業遺産研究会入会案内		81
会員会社 広報・広告			83

2017

● 産業遺産研究 第24号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2017.7.23、判型：A4判、頁数：111

巻頭言	産業遺産を楽しもう	天野 武弘	1
論文	技術史研究の視点を生かした技術者倫理教育の取り組み	橋本 英樹	2
調査報告	一宮市木曽川町玉ノ井の毛織物工場 その1－葛利毛織工業の沿革と機械－	岩井 章真・天野 武弘・野口 英一朗・磯部 恭子・小野 雅信	5
	一宮市木曽川町玉ノ井の毛織物工場 その2－葛利毛織工業の建物の現状－	磯部 恭子・野口 英一朗・小野 雅信・岩井 章真・天野 武弘	15
	一宮市木曽川町玉ノ井の毛織物工場 その3－葛利毛織工業の建物の変遷－	野口 英一朗・磯部 恭子・小野 雅信・岩井 章真・天野 武弘	25
	一宮市奥町の毛織物工場－市橋毛織物工業工場－	小野 雅信・野口 英一朗・岩井 章真・神田 年浩	35
	名鉄三河線高浜港駅の本造駅舎について	天野 卓哉・野口 英一朗	45
	保古用水 深沢水路橋	田口 憲一	54
研究ノート	ディーゼル航空機の開発史とディーゼル車両などへの応用	杉本 漢三	58
	神岡鉱山～明治末・大正期の鉱山経営～	入江 隆亮	63
コラム	スターリングエンジン	杉本 漢三	65
研究ノート	熱田火力発電所	浅野 伸一	66
追悼	中住健二郎元副会長を偲ぶ		71
	中住健二郎氏のご逝去を悼む	永田 宏	71
	故人の思い出 研究会顧問 中住健二郎氏	大橋 公雄	72
	中住健二郎氏の研究業績紹介	編集委員会	72
	中住健二郎 研究業績目録	石田 正治	74
インタビュー「私の歩んだ道」	路面電車に魅せられて 藤井建さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	76
海外情報	ラオス南部の産業近代化見聞記	天野 武弘	81
	ラオス調査の書籍紹介（『ラオス南部地域の社会と産業 そして人』）		84
博物館紹介	MIZUKAN MUSEUM	永田 宏	85

資料紹介	明治33（1900）年、丸三麦酒(株)の落胆と歓喜 （付記）明治43（1910）年、第十回関西府県連合共進会の場合	永田 宏	86
書籍紹介	『人間いたるところ青山あり 技術・職業教育学者佐々木享先生追悼集』（佐々木享先生追悼集編集委員会編）	大橋 公雄	88
	『図説 鉄道の博物誌 ものづくり技術遺産（鉄道の革新）』（石田正治・山田俊明編著）	橋本 英樹	89
	『満洲電信電話株式会社 そのメディア史的研究』（白戸健一郎著）	永田 宏	90
コラム	焼玉エンジン	杉本 漢三	91
書籍紹介	『中島飛行機の技術と経営』（佐藤達男著）	永田 宏	92
	『新修豊田市史22 別編 建築』（『新修豊田市史編さん専門委員会編）	野口 英一朗	93
	『学芸員と歩く 愛知・名古屋の戦争遺跡』（伊藤厚史著）	杉本 漢三	94
コラム	風船爆弾（気球爆弾）	杉本 漢三	94
書籍紹介	『路面電車発展史 世界を制覇したPCCカーとタトラカー』（大賀寿郎著）	藤井 建	95
	『社史の図書館と司書のお話 神奈川県立川崎図書館社史室の5年史』（高田高史著）	藤井 建	96
コラム	木綿の伝来と棉祖神天竹神社	寺沢 安正	97
活動報告	2016年度パネル展・講演会 東海の綿織物・毛織物と産業遺産	浅野 伸一	98
活動報告・事業計画	2016年度の中部産業遺産研究会活動報告		100
	2017年度の中部産業遺産研究会事業計画		102
	中部産業遺産研究会規約		104
	中部産業遺産研究会 2016～2017年度役員及び分掌幹事		105
	中部産業遺産研究会 2016～2017年度役員と分掌組織		106
	『産業遺産研究』執筆要綱		107
	中部産業遺産研究会入会案内		109
会員会社 広報・広告			111

2018

● 産業遺産研究 第25号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2018.7.22、判型：A4判、頁数：87

巻頭言	中部産業遺産研究会に出会うまで	黒田 光太郎	1
調査報告	積丹半島の袋淵調査	天野 武弘・山田 大隆	2
	尾北地方の鋸屋根工場の一次調査ーその1ー江南市	小野 雅信・岩井 章真・野口 英一朗	11
研究ノート	日本の星型18気筒発動機の開発技術史とその顛末録	杉本 漢三	21
	酒井水車場の調査報告	田口 憲一	26
	水力発電と農業用水	浅野 伸一	31
産業遺産紹介	世界文化遺産 富岡製糸場と荒船風穴をめぐる	橋本 英樹	37
	渋川凱旋門	朝井 佐智子	41
	立梅用水を利用した波多瀬発電所	寺沢 安正	47
コラム	丹生水銀鉱山跡	浅野 伸一	48
インタビュー「私の歩んだ道」	障害者福祉への志と二輪車史研究の夢に生きて 富成一也さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	49
海外情報	中国・大連の日本橋 産業遺産としての意義と課題	大島 一朗	54
博物館紹介	名古屋郷土二輪館	浅野 伸一	59
	尚古集成館（旧集成館機械工場）とその周辺	杉本 漢三	60
	島津製作所創業記念資料館	浅野 伸一	61
追悼	都築正之さんの御逝去を悼む	永田 宏	63
コラム	大野鍛冶	永田 宏	63
特別報告	日本の電力王・福沢桃介の生涯と業績 生誕150年によせて	寺沢 安正	64
書籍紹介	『バルトン先生、明治の日本を駆ける！近代化に献身したスコットランド人の物語』（稲場紀久雄著）	永田 宏	67
コラム	歴史的建造物から見る「表皮応力構造」と乗用車、電車への応用	杉本 漢三	68
書籍紹介	『Lighthouse すくっと明治の灯台64基 1870～1912』（野口毅撮影・藤岡洋解説）	永田 宏	69
	『科学と産業の発展を支えた分析機器・科学機器遺産 いかにして技術基盤は築かれたか』（分析機器・科学機器遺産編集委員会編）	永田 宏	70
	『軍用機の誕生 日本軍の航空戦略と技術開発』（水沢光著）	杉本 漢三	71
	『トラクターの世界史 人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち』（藤原辰史著）	藤井 建	72
コラム	鉄道省1号バスの博物館での流転旅	杉本 漢三	73
活動報告	2017年度パネル展・講演会 中部における国産車のあゆみ	藤田 秀紀	74
活動報告・事業計画	2017年度の中部産業遺産研究会活動報告		76
	2018年度の中部産業遺産研究会事業計画		78
	中部産業遺産研究会 2018～2019年度役員及び分掌幹事		79
	会長退任の挨拶	永田 宏	79
	中部産業遺産研究会 2018～2019年度役員と分掌組織		80
	中部産業遺産研究会規約		81
	『産業遺産研究』執筆要綱		83
	中部産業遺産研究会入会案内		85
会員会社 広報・広告			87

2019

● 産業遺産研究 第26号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2019.7.21、判型：A4判、頁数：73

巻頭言	産業遺産の地域的な価値をめぐって	浅野 伸一	1
論文	イチビキの巨大な味噌仕込み桶「丈三桶」の存在意義	天野 武弘	2
調査報告	中央西線建設に伴う「れんがば」の調査	田口 憲一	10
	尾西地方にあった煉瓦造の鋸屋根工場－吉田織産合資会社工場－ 旧舩善毛織工場建屋の取り壊しについて	岩井 章真・野口 英一朗 野口 英一朗・岩井 章真	16 26
インタビュー「私の歩んだ道」	戦時下の青春からジャーナリストへ、そしてドイツ人俘虜の調査研究 校條善夫さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	32
海外情報	ラオス南部で操業中のホフマン式輪環窯見聞記	天野 武弘	38
博物館紹介	越前市越前和紙の里 紙の文化博物館	入江 隆亮	42
追悼	永田宏さんのご逝去を悼む	大橋 公雄	43
	前会長永田宏さんを偲ぶ	朝井 佐智子	44
	学友・花村富雄君を偲ぶ	石田 正治	45
	名誉顧問田中浩太郎さんを偲ぶ－依佐美送信所 I E E E マイルストーン記念碑建立への道程－	石田 正治	47
	『ラヂオ塔大百科2017 日本各地にひっそりと残る街頭ラジオ』（一幡公平著）	渡辺 治男	53
書籍紹介	『近代日本 製鉄・電信の源流－幕末明治初期の科学技術－』（「近代日本製鉄・電信の源流」編集委員会編）	藤田 秀紀	54
	企画展図録『明治150年 近代日本の挑戦者たち－博覧会にみる明治の三河』（岡崎市美術館編）	天野 武弘	55
	特別展図録『明治150年記念 日本を変えた千の技術博』（国立科学博物館理工学研究所 企画・監修 日本経済新聞社イベント事業部・日経サイエンス社編）	石田 正治	56
	『名古屋鉄道車両史』上巻（創業から終戦まで）（清水武・田中義人著）	藤井 建	57
	『遠山 森林鉄道と山で働いた人々の記録』（森林鉄道写真刊行委員会編）	藤井 建	58
	『スーパーカブは、なぜ売れる』（中部博著）	藤井 建	59
活動報告	2018年度パネル展・講演会 モダン都市名古屋の形成	藤田 秀紀	60
	2018年度の中中部産業遺産研究会活動報告		62
事業計画	2019年度の中中部産業遺産研究会事業計画		64
	中部産業遺産研究会規約		65
	中部産業遺産研究会 2018～2019年度役員及び分掌幹事		67
	中部産業遺産研究会 2018～2019年度役員と分掌組織		68
	『産業遺産研究』執筆要綱		69
	中部産業遺産研究会入会案内		71
会員会社 広報・広告			73

2020

● 産業遺産研究 第27号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2020.7.31、判型：A4判、頁数：78

巻頭言	新しい産業考古学の地平を求めて	山田 大隆	1
研究ノート	旧黒田ダムの歴史的意義	浅野 伸一	4
	ラオスのコーン・デット鉄道の産業遺産考察	大島 一朗	8
調査報告	唐津炭田・芳谷炭坑の遺跡調査報告	市原 猛志・小西 伸彦	16
	全国の文化財登録された鋸屋根工場のリスト化－葛利毛織工業株式会社工場の文化財登録を契機として－	岩井 章真・野口 英一朗	22
インタビュー「私の歩んだ道」	電子顕微鏡による金属物性の研究から生存のための工学の提唱へ 研究の軌跡と背景 黒田光太郎会長	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	30
コラム	女性化学者の先駆け 黒田チカ	浅野 伸一	37
海外情報	A Journey to the Industrial Heritage and History of Technology in Europe - Germany ヨーロッパ技術史の旅・ドイツ編	オリバー・マイヤー	38
	タイ北部のスコータイ歴史公園とシー・サッチャナーライ歴史公園の古窯群見聞記	天野 武弘	44
	ポーランド、シレジアの産業遺産	石田 正治	48
コラム	国際産業遺産保存委員会	石田 正治	54
博物館紹介	ヤマザキマザック 工作機械博物館	天野 武弘	55
追悼	校條善夫氏のご逝去を悼む	浅野 伸一	57
	誇り高い技術者 杉本漢三さんのご逝去を悼む	橋本 英樹	58
書籍紹介	『産業遺産巡礼《日本編》』（市原猛志著）	天野 武弘	60
	『黒鉄さんがゆく 生成の技術論』（広瀬伸著）	藤井 建	61
活動報告	2019年度パネル展・講演会 ものづくり中部の革新者たち	藤田 秀紀	62
	2019年度の中中部産業遺産研究会活動報告		65
事業計画	2020年度の中中部産業遺産研究会事業計画		67
	中部産業遺産研究会規約		68
	中部産業遺産研究会 2020～2021年度役員及び分掌幹事		70
	中部産業遺産研究会 2020～2021年度役員及び分掌組織		71
	『産業遺産研究』執筆要綱		72
	『産業遺産研究』投稿要領		74
	中部産業遺産研究会入会案内		76
	会員会社 広報・広告		78

2021

● 産業遺産研究 第28号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2021.7.20、判型：A4判、頁数：90

巻頭言	コロナ禍と無形産業遺産保存利活用への挑戦	大島 一郎	1
論文	造幣局創業期の硬貨圧印機に関する調査研究	石田 正治	4
コラム	造幣局と技術移転	石田 正治	15
研究ノート	矢作川支流巴川に建設された盛岡発電所の電力史	浅野 伸一	16
調査報告	尾州織物工業協同組合の沿革と建物	岩井 章真・野口 英一朗・小野 雅信	22
	西三河の鍛冶屋の現状と復元鍛冶工場の開設	天野 武弘	32
インタビュー「私の歩んだ道」	技術の社会史、産業遺産研究、博物館学を開拓 種田明さん	聞き手 水野 信太郎、編集 浅野 伸一	43
海外情報	スウェーデンの鉱山遺跡と鉄からみ煉瓦	市原 猛志	53
産業遺産紹介	ラジオ塔について	渡辺 治男	57
博物館紹介	豊橋市民俗資料収蔵室	天野 武弘	62
	関東大手私鉄博物館考 関東大手私鉄ミュージアム6 館出そろそろー京急ミュージアムに続き小田急ロマンスカーミュージアムがオープンー	中川 洋	64
書籍紹介	『日本のオート三輪車史』（G P企画センター編）	藤井 建	67
	『ラジオの技術・産業の百年史 大衆メディアの誕生と変遷』（岡部匡伸著）	渡辺 治男	68
	『電線絵画 小林清親から山口晃まで』（加藤陽介編）	浅野 伸一	69
	100 INNOVATIONS OF THE INDUSTRIAL REVOLUTION, FROM 1700 TO 1860 (Simon Forty) 訳書：『産業革命歴史図鑑 100の発明と技術革新』（大山晶訳）	石田 正治	71
活動報告	2020年度パネル展・講演会 ものづくり中部の革新者たちⅡ	藤田 秀紀	74
事業計画	2020年度の中中部産業遺産研究会活動報告		77
	2021年度の中中部産業遺産研究会事業計画		79
	中部産業遺産研究会規約		80
	中部産業遺産研究会 2020～2021年度役員及び分掌幹事		82
	中部産業遺産研究会 2020～2021年度役員及び分掌組織		83
	『産業遺産研究』執筆要綱		84
	『産業遺産研究』投稿要領		86
	中部産業遺産研究会入会案内		88
会員会社 広報・広告			90

2022

● 産業遺産研究 第29号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2022.7.20、判型：A4判、頁数：67

巻頭言	まちづくりと産業遺産	大橋 公雄	1
研究ノート	矢作川支流巴川における日英水電の水力発電事業	浅野 伸一	5
	工業都市の公園化による産業遺産の保存と活用についての考察ーキャッスルフィールド都市遺産公園とその先行事例に関する研究ー	石田 正治	11
	タイプライターの歴史とタイピストとしての女性の職業生活についての研究	三宅 章介・高木 弘恵・高木 清秀	15
インタビュー「私の歩んだ道」	挑戦し追求し続けた技術教育・産業遺産研究の道 大橋公雄さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	30
海外情報	バーレーンの天然真珠採取業と第一次産業の世界遺産	市原 猛志	38
博物館紹介	三共工作機械資料館	天野 武弘	42
活動報告	瀬戸の産業遺産見学会報告	大橋 公雄	45
書籍紹介	『愛知の昭和30年代を歩く』（溝口常俊編著）	山田 貢	48
	『明治政府測量師長コリン・アレクサンダー・マクヴェインー工部省建築營繕、測量、気象観測への貢献ー』（泉田英雄著）	天野 武弘	49
	『愛知の駅ものがたり』（藤井建著）	橋本 英樹	50
	『明治維新を担った人たち2 経済の維新と殖産興業 一八五九～一八九〇』（鈴木淳編著）	天野 武弘	51
	『技術と教育、文化の探究ーヒノデ紡機創立100年に際してー』（長谷川雅康著）	杉山 清一郎	52
コラム	ヒノデ自動車製作所	杉山 清一郎	53
活動報告	2021年度の中中部産業遺産研究会活動報告		54
事業計画	2022年度の中中部産業遺産研究会事業計画		56
	中部産業遺産研究会規約		57
	中部産業遺産研究会 2022～2023年度役員及び分掌幹事		59
	中部産業遺産研究会 2022～2023年度役員及び分掌組織		60
	『産業遺産研究』執筆要綱		61
	『産業遺産研究』投稿要領		63
	中部産業遺産研究会入会案内		65
会員会社 広報・広告			67

2023

● 産業遺産研究 第30号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2023.7.20、判型：A4判、頁数：99

巻頭言	中部産業遺産研究会設立30周年にあたって	天野 武弘	1
研究ノート	名古屋市の堀川、新堀川、中川運河沿いのデリッケー2001～2004年の調査記録からー ルール工業地帯の歴史と産業文化ルートをみる産業遺産の保存と再利用	天野 武弘・夏目 勝之 オリバー マイヤー・石田 正治	2 8
調査報告	旧和中散本舗の人車製葉機の実測調査報告	石田 正治・緒方 正則	17
インタビュー「私の歩んだ道」	技術史・産業遺産を追いかけて たたら製鉄、ガラ紡機、人造石遺産を中心に 天野武弘さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	27
海外情報	TICCIH2022 カナダ・モントリオール大会の概要とスーランジュ運河の産業遺産報告	大島 一朗	38
	カナダ・ケベック州南西部の産業遺産ーTICCIH2022 モントリオール大会、コングレスツアー見聞記ー	天野 武弘	44
	カナダ産業革命の発祥地・ラシース運河ー魅力的な産業遺産の保存と利活用ー	伊東 孝	48
	世界遺産・リドー運河とオタワ	市原 猛志	53
	トロント・ディスティラリー歴史地区の産業遺産	成田 年秀	57
産業遺産紹介	飛騨索道運輸株式会社の産業遺産	田口 憲一	61
	(株)豊田自動織機製作所 旧鉄工場とG型自動織機の部品加工機の保存と活用	成田 年秀	68
博物館紹介	北名古屋市長史民俗資料館「昭和日常博物館」	野村 千春	72
	越原記念館	大橋 公雄	73
追悼	前TICCIH（国際産業遺産保存委員会）日本代表の種田明先生を偲ぶ	寺沢 安正	76
活動報告	2022年度パネル展・講演会 ものづくり中部の革新者たちⅢ	杉山 清一郎	78
書籍紹介	『愛知県治水土木の功労者 偉人黒川治憲傳』（黒川治憲顕彰会編）	浅野 伸一	81
	『巨大おけを絶やすな！ 日本の食文化を未来へつなぐ』（竹内早希子著）	藤井 建	83
	『国産航空機の歴史 零戦・隼からYS-11まで』（笠井雅直著）	杉山 清一郎	84
活動報告	2022年度の中部産業遺産研究会活動報告		86
事業計画	2023年度の中部産業遺産研究会事業計画		89
	中部産業遺産研究会 2022～2023年度役員及び分掌組織		90
	中部産業遺産研究会規約		91
	『産業遺産研究』執筆要綱		93
	『産業遺産研究』投稿要領		95
	中部産業遺産研究会入会案内		97
会員会社 広報・広告			99

2024

● 産業遺産研究 第31号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2024. 7. 20、判型：A 4 判、頁数：93

巻頭言	加藤博雄と佐々木享の研究手法論に学ぶ	石田 正治	1
論文	佐渡鉱山の人造石遺産の特徴ーX線分析からみる施工法の考察ー	天野 武弘・市原 猛志・前浪 洋輝	4
研究ノート	三河電力と小原発電所の歴史と意義	浅野 伸一	12
インタビュー「私の歩んだ道」	曲がり角の技術教育から地域の技術史研究へ 人見昭さん	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	17
コラム	人見弥右衛門（1729～1797）	浅野 伸一	22
海外情報	鳳鳴街ー大連のある“日本老街”探訪ー	大島 一朗	23
	ヴッパータールとゾーリングゲンの産業遺産	オリバー マイヤー・石田 正治	29
	第21回イコモス総会とシドニーの産業遺産	市原 猛志	36
	カンボジアのクメール遺跡に見る石造の歴史的遺産	天野 武弘	40
産業技術史	街頭テレビーテレビ放送黎明期の遺産ー	渡辺 治男	46
コラム	テレビジョン技術の父ー高柳健次郎ー	渡辺 治男	49
産業遺産紹介	三坂（神坂）風穴の産業遺産	田口 憲一	50
	豊川市の宝地池円筒分水	天野 武弘・鈴木 涼平	55
	持倉鉱山遺跡のからみ煉瓦造施設	市原 猛志	61
博物館紹介	謄写版発祥の地に「ガリ版伝承館」	大橋 公雄	65
活動報告	2023年度パネル展・講演会 大正ロマン・昭和レトロのモノがたりー消え去った風景、忘れられた施設ー	大橋 公雄・野村 千春	68
書籍紹介	『国防と米国科学ー第2次世界大戦とレーダー開発と科学者動員、冷戦構造と軍産学複合体制ー』（田中浩太郎編訳）	石田 正治	73
	『鉄のふしぎ博物館』（衣川良介著）	植田 泰司	74
	『電子部品技術史 1945～1998 日本のエレクトロニクスを隆盛へと先導した電子部品発展のあゆみ』（社団法人日本電子機械工業会電子部品部編）	渡辺 治男	75
	『上石津時水力発電所 その歴史と意義』（時水力発電所の保存活用を考える会 大田博行・浅野伸一編著）	大田 博行	76
	『資料集 小原電灯株式会社ー写真・解説・資料ー』（浅野伸一著）	森山 和彦	77
	『日本における自動空気ブレーキと「制御弁」のあゆみ』（平岡良一著）	橋本 英樹	78
活動報告	2023年度の中部産業遺産研究会活動報告	山田 貢	79
事業計画	2024年度の中部産業遺産研究会事業計画	山田 貢	82
	中部産業遺産研究会規約		83
	中部産業遺産研究会 2024～2025年度役員及び分掌組織		85
	『産業遺産研究』執筆要綱		86
	『産業遺産研究』投稿要領		88
	中部産業遺産研究会入会案内		90
会員会社 広報・広告			92

2025

● 産業遺産研究 第32号

編集：産業遺産研究編集委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2025.7.20、判型：A4判、頁数：102

巻頭言	産業遺産の世界にようこそ	浅野 伸一	1
論文	ラオスに移転されたガラ紡機の技術史的特徴と評価	天野 武弘	2
研究ノート	産業遺産研究を巡る一視点	浅野 伸一	10
調査報告	坂川鉄道に関する史料の調査報告	田口 憲一	16
インタビュー「私の歩んだ道」	「ものづくり王国」愛知の面白さを語り伝えて (株)カーネル総研取締役 赤崎真紀子	聞き手 水野 信太郎ほか、テープ起こし 浅野 伸一	27
海外情報	ドイツ、ルール地方の保存された製鉄所ー北デュイスブルク景観公園のマイデリッヒ製鉄所とハッティンゲンのヘンリッヒス製鉄所ー	オリバー マイヤー・石田 正治	36
	第46回世界遺産委員会と「佐渡島の金山」の世界遺産登録	市原 猛志	40
	タイの旧泰緬鉄道遺産・見学記	天野 武弘	44
産業技術史	通信技術の歴史とその遺産	石田 正治	50
博物館紹介	駒ヶ根シルクミュージアム	天野 武弘	61
	高柳記念未来技術創造館	渡辺 治男	64
追悼	顧問 坪井珍彦さんを偲ぶ	天野 武弘	67
	鉄道技術者 白井昭氏のご逝去を悼む	橋本 英樹	71
活動報告	2024年度パネル展・講演会 大正ロマン・昭和レトロのモノがたりⅡー消え去った風景、忘れられた施設ー	渡辺 治男	76
	大井発電所・旧北恵那鉄道廃線跡見学記	浅野 伸一	82
書籍紹介	『万物の尺度を求めて メートル法を定めた子午線大計測』(ケン オールダー著)	植田 泰司	84
	『世界史リブレット81 近代技術と社会』(種田明著)	寺沢 安正	85
	『名古屋テレビ塔クロニクル2 ミライタワーの未来』(名古屋テレビ塔株式会社監修)	渡辺 治男	86
	『産業遺産の社会史 日本とフランスの歴史・文化・課題』(矢後和彦・ベルナールトマン編著)	夏目 勝之	87
活動報告	2024年度の中中部産業遺産研究会活動報告		89
事業計画	2025年度の中中部産業遺産研究会事業計画		92
	中部産業遺産研究会規約		93
	中部産業遺産研究会 2024～2025年度役員及び分掌組織		95
	『産業遺産研究』執筆要綱		96
	『産業遺産研究』投稿要領		98
	中部産業遺産研究会入会案内		100
会員会社 広報・広告			102